

目次

(一面)

令和4年度総会について 事務局 中山 正裕
 令和4年度事業計画 会長あいさつ 事務局 屋敷 成治
 特別講演会 事務局 屋敷 成治
 人権啓発リーダー研修会 事務局 屋敷 成治
 視点 南武庫之荘中学校長

(二面)

武庫地域振興センターと地域カフェの事例 所長 木崎 貴則
 まごころ茶屋は、まごころ薬局が運営するブックカフェです。 福田 淳
 「ムコキタサポーターズ発足！」 田近 秀樹

武庫しののめ

武庫地区人権啓発推進委員会
 尼崎市南武庫之荘 11 丁目 6 番 15 号
 尼崎市立地域総合センター南武庫之荘
 電話・FAX 06-6438-5875

令和4年7月6日

武庫地区人権啓発推進委員会総会が開催されました。

令和4年7月6日(水)、武庫西生
 涯学習プラザ1階ホールで令和4年
 度武庫地区人権啓発推進委員会総会
 が開催されました。

令和2年度と令和3年度の総会は
 新型コロナウイルス感染症拡大防止の
 観点から書面総会となりましたが、
 今年度は3年ぶりの開催となり、武庫
 地区の人権啓発活動に日々尽力頂
 いている方々が多数出席されました。



総会では高津会長
 の挨拶が始まり、
 来賓の紹介・挨拶
 に続いて、議事に
 入りました。

まず第1号議案
 の「令和3年度事
 業報告」の承認に続き、第2号議案
 (「令和4年度役員体制」として、選
 出団体の役員交代などに伴い、次の
 方々が新たに役員に選出されまし
 た。

会長 中山正裕さん、副会長(6
 人)橋本弘幸さん、松井俊也さん、瀬
 戸富士男さん、濱田格子さん、中井祐
 未香さん、平田哲也さん
 最後に第3号議案「令和4年度事業
 計画」が提案どおりに承認されました。

武庫地区人権啓発推進委員会 総会・特別講演会、 人権啓発リーダー研修会が開催されました。

◆特別講演会

令和4年7月6日(水) 武庫西生
 涯学習プラザ 1階ホール

7月6日の総会終了後、兵庫県立
 東播磨高校教諭で放送部顧問の大江
 真理氏をお招きして、特別講演会
 『私たちにできることー拉致問題の
 解決を願って』の制作に参加して」を
 開催しました。

兵庫県立東播磨高校の放送部の活
 動について紹介され、同校放送部が
 兵庫県制作のDVD「私たちにでき
 ること」ラ致問題の解決を願って」
 の制作に関わった経緯や、部員が「拉

総会終了後、特別講演会を開催し、
 全日程を終了しました。
 (参加者38名)

令和4年度の事業計画

令和4年度の事業計画としては、
 以下を計画しています。新型コロナウイルス
 ウイルス感染拡大の影響により、中
 止や変更となる場合があります。

人権問題講演会・研修会

武庫地区人権啓発推進委員会の推
 進委員、協力委員、人権啓発リーダ
 ーを対象に実施します。

人権週間の取り組み

毎年12月10日は、1948年の国
 連総会で「世界人権宣言」が採択さ
 れたことを記念して制定された「人
 権デー」です。
 本年も12月4日(日)～10日(土)
 までの1週間を「人権週間」として、
 「人権文化の息づくまち」を目指し、

様々な啓発活動に取り組みます。

武庫地区人権学習会

市民啓発紙『武庫しののめ』の発行

武庫地区人権啓発推進委員会の事

会長あいさつ

中山 正裕



平素は本会事業にご支援とご協
 力を賜り厚くお礼申し上げます。
 私、中山正裕は、本年7月6日に
 開催されました武庫人権推和4
 年度総会におきまして、高津前会
 長の後任として会長に選任されま
 した。精一杯役職に精励したいと
 思っております。よろしくお願い申
 上げます。

本会では、武庫地区だけでなく
 すべての方々の人権が尊重される
 ことをめざし、行政及び関係各所
 と協働して人権課題に関する啓発
 活動や人権意識向上のための研修

業や人権啓発に係わる記事・情報を
 配信する啓発紙です。武庫地区全戸
 に配布します。また市内の施設等
 も配架します。
 ・年2回発行(101号9月、10
 2号3月)
 (事務局)

会を開催しております。是非、ご参
 加いただき、その内容をご家族や
 お友達にお伝えいただくことを
 願っております。
 また、新型コロナウイルス禍において、私
 たちの周りには、様々な人権課題
 が浮き彫りとなっております。特
 に、こども(幼児)の虐待等の痛まし
 い事件が発生しており、各種報道
 で心を痛めることが多くあります。
 この様なことが近隣の方々との
 絆で、少しでも解決できればと思
 います。これからは一人ひとりの人権
 が尊重され、安全で安心して住み
 やすい武庫地区に向けて、皆様と
 力を合わせて人権課題に取り組み
 たいと存じますので、ご協力の程よ
 ろしくお願いいたします。

究発表部門で研究奨励賞という結果
 でした。
 (参加者35名)

◆人権啓発リーダー研修会

令和4年7月27日(水) 地域総合セ
 ンター南武庫之荘 集会室

人権啓発リーダー研修会の講師と
 して自立援助ホーム・若葉の野本亮
 一副施設長をお招きし、「こどもたち
 が安全で安心できる『わが家』自立
 援助ホームの設立」という演題で講
 演をしていただきました。



義務教育を終了し
 た15歳～20歳(場合
 によっては22歳)が
 対象で、何らかの理
 由で家庭にいられな
 くなったこどもたち
 が、「自立すること」
 を目標に、就学や就
 労をしながらスタッ
 フたちと共同生活を送る施設です。
 自立援助ホーム「若葉」は、尼崎市
 下坂部に本年(令和4)1月20日に
 オープンしました！
 私たちはありのままのあなたを受
 け入れます。あなたの『小さな希望』
 を大切にして自立を援助します。
 電話：06-64409-4315
 FAX：06-64409-4316
 ホームページ：
<https://www.wakaba2021.com/>
 (参加者36名)
 (事務局)

視点



若者たちを信じて

「今どきの若い者は…」と自
 分たちも言われていたことを
 忘れ、つい口に出してしまうこ
 とはありませんか。
 私は仕事柄、四十年近く
 ずっと若者たちと日々一緒に
 過ごしていますが、自分が若
 い時の方がそう思ったもので
 す。むしろこの頃は、若者たち
 から学び刺激を受けることの
 方が多くあります。

近年、ネットが中心になり、
 新聞や本を読む機会が減って
 います。本校では、昨年度から
 NIE(教育に新聞を)活動
 を取り入れ、言語能力や情報
 活用力の育成に力を入れてい
 ます。
 興味ある記事を要約し、グ
 ループ討議を繰り返して、ノー
 トにまとめて発表します。地
 球温暖化や森林破壊、いじめ
 とSNSなど様々なテーマに
 意欲的に取り組んでくれてい
 ます。

さらに生徒たちは、課題解
 決に向けて考えるだけでなく、
 く、行動に移
 し始めまし
 た。
 5月に、生
 徒会執行部
 とボランティア
 ア部が、武庫
 之荘駅前
 ウクライナ
 支援の募金
 活動を行い、
 多くの地域
 の方からご
 支援をいただき
 ました。



南武庫之荘中学校
 校長 屋敷 成治

頼もしい若者たちに未来を
 託し、これからも応援してい
 きたいものです。

武庫地域振興センターと地域カフェの事例

令和4年4月から武庫地域振興センター(以下、センター)所長を拝命した木崎です。どうぞよろしくお願ひします。地域のみなさまにおかれましては、平素より、地域振興行政に、ご理解、ご協力いただき、誠にありがとうございます。

今年10月22日(土)西武庫公園で「ふれあいひろば武庫21(武庫まつり)」の開催を予定しています。

世を超えた交流がある地域のまつりです。コロナ感染対策を行い市民運動武庫地区推進協議会のみなさんと、一緒に盛り上げていきたいと思ひますので、よろしくお願ひします。

地域で話題に上っている事柄に、どういった背景があるのか探ったなかで、本質を見出し、地域でどのような課題解決が可能か見出し、実現していく取り組みです。

具体的な取り組みとして、シニア男性が活躍している地域カフェ



の事例をご紹介しますと思ひます。

仕事をリタイア後、現役時代に比べ、時間的な余裕ができ、シニア男性が年配の方が集う居場所カフェに出かけてみたところ、共通の話題もなく、身の置き場がないと感じられていました。

一方、シニア男性のつどい場が少ないことを、地域課題としてつかんでいたセンターの職員はシニア男性が集える場所を作りたいという思いを持ち続けていたところ、コーヒの淹れ方の講座を実施している方と出会う場面がありました。

この講座をセンター主催で開催したところ、武庫地域のシニア男性が参加され、参加者それぞれの個性ある味わいのコーヒを淹れる技術を習得、センターの職員も加わった小さなコーヒコミュニティができました。

地域カフェのメンバーは、「コーヒ豆の煎り方、淹れ方の知識を誰かに語りたい」気持ちや、「せっかくなら、誰かにふるまいたい」という思いに至り、センターの職員

も交え話し合いを重ねていきました。

さまざまなアイデアが出る中で、落ち着いたのが、気軽に集える場所として1回の定例ふるまい会を中心に活動するというところで、コーヒを飲む方のくつろぎと、運営されるシニアの社会参加が程よく合わさって、思いもよらない新しい出会いが生まれるきっかけになっていきます。

センターでは、このような地域のみなさんの思いに寄り添い、実現していきたいと考えております。ご相談等、ご遠慮なくお寄せください。

地域カフェの情報
日時：第2水曜日10時～12時
場所：武庫西生涯学習プラザ1階



武庫地域振興センター
所長 木崎 貴則

まごころ茶屋は、まごころ薬局が運営するブックカフェです。

最初は、薬局の患者さんとコミュニケーションを取る中で、人とのつながりが多い方、役割がある方、生きがいを持っている方は薬を飲んでいても元気な方が多いと感じ、居場所づくりのために、コミュニティスペースとして2019年4月より運営を開始しました。

患者さんや地域の人と一緒にイベントや個展、ふれあいサロンなどを実施していましたが、新型コロナウイルスにより人が集まるのが難しくなり何もできない状態

が続きました。

やめようかと思ひましたが、そんな時、尼崎市の杭瀬にある「二商店」という新しい形態の古本屋さんのことを知り、既存の複数の古本屋さんを本を持ち寄り、サブ古本屋として地域の人に運営してもらおうという仕組みで、報酬は売上20%です。

そこで、稼働率の下がっていたまごころ茶屋にこの仕組みを導入して、2021年11月に古本屋の「三商店」を始めました。

やっていく中で、本を選びなが

らお茶もしたいという声があったので、今年の7月からは飲食の許可もとり、ブックカフェとなっています。

当初の目的だった人との繋がりや役割づくり・生きがいづくりは、少しずつできてきているのではないかと感じていきます。

コロナが収まれば、もっとも地域の方々自然と集まってくるような場所になって欲しいですね。

株式会社コーディアル
代表取締役 福田 惇



まごころ茶屋/三商店
住所：尼崎市武庫之荘6-24-11
セビィヌ武庫之荘1番館1
06
電話：090-8529-644
3
休日：日曜・祝日



武庫地区で頑張る団体紹介

「ムコキタサポーターズ発足！」

ムコキタサポーターズ(以下ムコサポ)は、令和4年4月に立ち上げたばかりなので、ご存知ない方も多いかと思ひます。「ムコキタの子どもたちが安全に安心して、そして楽しく学校で過ごせるように、困っていることとで私たちがサポート出来ることをメンバーといっしょにお手伝いする!」という団体です。

これまでに、武庫北小学校の築山の竹林整備(6月)や、小学校の水泳授業の監視員お手伝い(6月・7月)などを、育友会や地域の方々と一緒にやってきました。

今後も武庫北小学校と情報交換しながら、お困りごとのサポートをしていきたいと思ひています。

団体設立のきっかけは、私が2018年に武庫北小学校の地域学校協働本部コーディネーターを委嘱されて、小学校と地域・団体とのパイプ役を担っている中で『根源的な課題』を解決できないかという想いからでした。

その1つは、ボランティアアさんの高齢化です。現在活動をされている方々の平均年齢は70歳を超えてきています。さらに後継者不足も問題です。活動いただいている方々の年齢構成を調べると、40代・50代が極端に少ない構成になっていきます(育友会を除く)。

次代を担う人材の育成をしようにも満足にできない状況です。そして、若い人材の発掘についても、活動が少ないと新しい人材の流入も少なくスカウティングもうまくいかないという負の連鎖に陥っているのです。

数年後の武庫北小学校へのコミュニティスクールの導入を見越して、40代・50代の方に参加してもらえようという団体を立ち上げました。いたってフレンドリーな



関係性で運営しています。「いやなことはいらない。やりたいことをやる人が、楽しみながらする」をモットーにしています。

そして、その活動がちゃんとみんなに理解されるところまで、計画段階で落とし込んでから実行していきます。

私たちが楽しんで行う活動が、結果として学校や地域の役に立つのが理想です。

そんな私たちと一緒にムコサポの活動してみたいと思う方がいらっしゃいますら、左記のLINEのQRコードから友だち申請をお願ひします。



ムコキタサポーターズ
代表 田近 秀樹
(武庫北小学校地域学校協働本部コーディネーター)